

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市八本松児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘
3	指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 23,656人 (前年度比 96.5%) 平成28年度 24,505人 平成27年度 23,206人 平成26年度 20,876人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p>・ 指定管理者に支払った費用 39,076千円 (27,010千円) ()は前年度決算額</p> <p>・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)</p> <p>《収入》</p> <p>・ 使用料収入 0千円 (0千円)</p> <p>・ その他収入 0千円 (0千円)</p>
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。	S
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だよりの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境作りに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	S
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、児童クラブ通信を発行し、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、保護者会共催で「夕涼み会」を行うなど、保護者の協力を得ながら多様な児童クラブ行事を設け、異年齢交流にも取り組んでいる。子育て相談ができるサロンのほか親子同士が交流できる機会を設けるなど子育て支援にも積極的に取り組んでいる。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（ 特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘 ）による自己評価》
<p>仙台市の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針に沿いながら、『地域でつながる・あそびでつながる児童館』を目指して、様々な活動に取り組んだ1年であった。</p> <p>○健全育成事業 子どもにとって学校でも家庭でもない第3の居場所となれるような環境づくりをしてきた。本物に触れることができる行事や、子ども参画として『子どもスタッフ』の活動を積極的に行い、のびすく長町南の協力で“出前児童館”を実施し、乳幼児親子への読み聞かせを実施。また、中高生への支援としてバスケットゴールの活用や中学生と卓球で遊ぶの行事では、児童クラブの先輩が小学生に対して教えてくれる姿が自然にあり、異年齢児の関りが多く見られた。</p> <p>○子育て支援事業 幼児クラブでは、近隣の児童館で1歳児クラスを設けなかったことで、多くの申し込みがあり、同じ年齢の子どもの活動を通して仲間づくりもできた。また、お茶を飲みながら子育ての悩みや相談ができる場『ほっとサロン』では、ようこそ八本松・郡山と題し、引っ越してきたばかりの親子を対象に行い、乳幼児親子の居場所づくりや横のつながりづくりを積極的に行った。</p> <p>○地域交流事業 今年度で3回目となる市民センターと保育園との3館共催コンサートでは、県内で活躍する和太鼓集団に演奏してもらい幅広い年齢層から好評を得た。向山高校茶道部の協力を得た夏のお茶会では、野点をすることで地域の方々に抹茶を楽しんでもらった。子育て支援クラブはちちと、餅つき会を地域の方々と臼杵で行うなど地域とのつながりを図ることができた。</p> <p>○放課後児童クラブ 保護者会の協力のもと充実した事業を行うことができた。サテライトが開設されたことで年度初めは不安を持たれる保護者もいたが、子どもの楽しいという声を聴いて安心する姿があった。日々子どもが主体的に活動できるようにしたり、交流会では、子どもたちの日々の姿を発表し、子どもを真ん中に置いた活動を行うことができた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>地域組織・団体・住民等と連携、相互交流を図りながら地域に根差した児童館の運営に取り組んでいる。</p> <p>「子どもスタッフ」など子ども達の意欲や主体性を育む取り組みを行っているほか、児童クラブの利用を終了した児童を中心に中学生が談話やスポーツなど日常の居場所として児童館が身近に利用されている。また、市民センター、保育園との3館共催コンサートの実施など積極的に児童館が地域に出ていき、地域と協働した児童館の運営に取り組んでいる。</p> <p>子育て家庭支援については、関係機関等と連携し、「ほっとサロン」等を実施するなど、乳幼児をもつ母親同士の交流の場や気軽に育児相談ができる場を設けているほか、地域ぐるみで子育て支援クラブを展開するなど子育て支援に努めており、評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課） 子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室